

経営比較分析表（平成30年度決算）

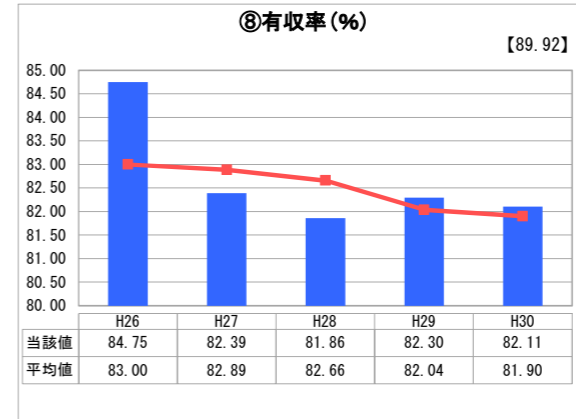
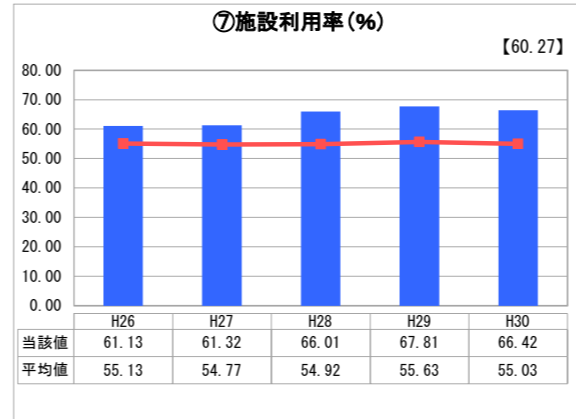
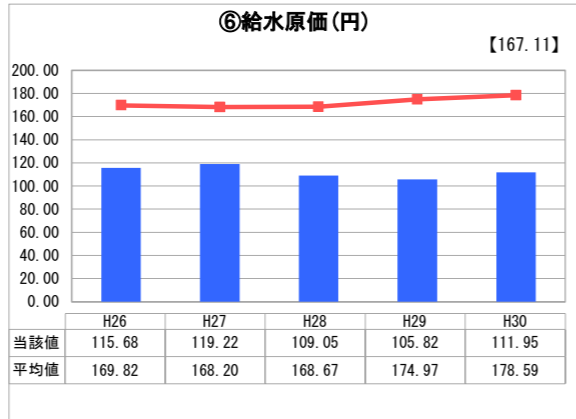
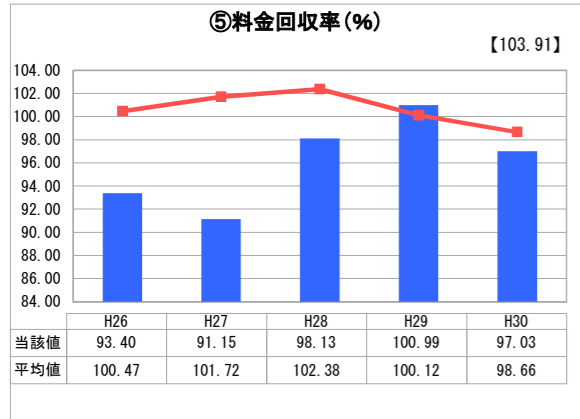
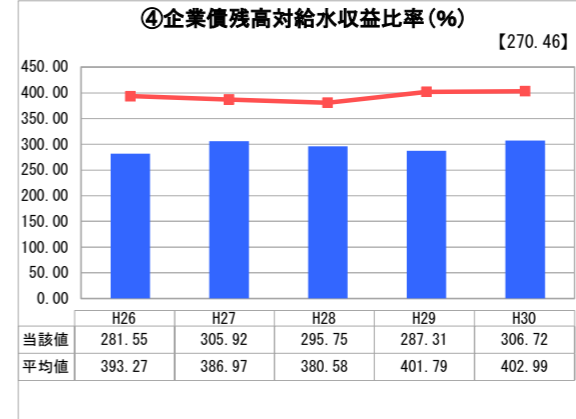
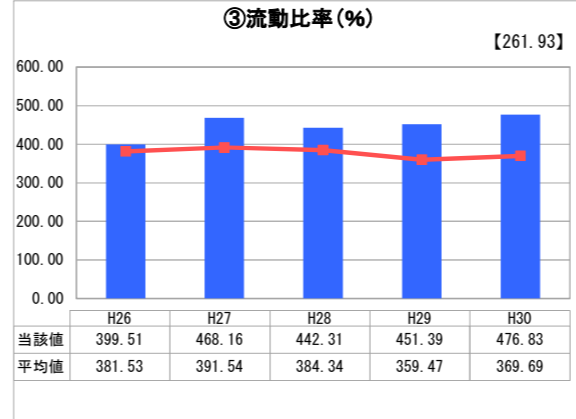
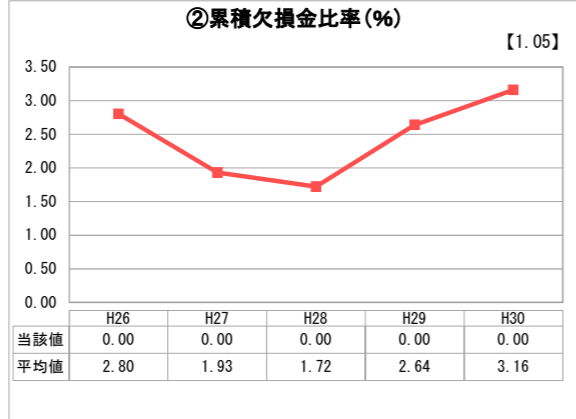
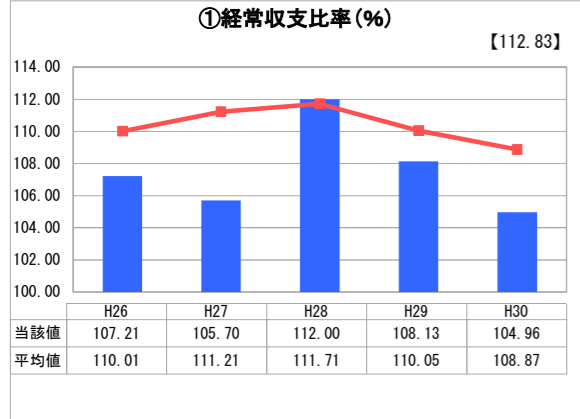
静岡県 森町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A6 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 73.43 | 89.17 | 2,138 | |

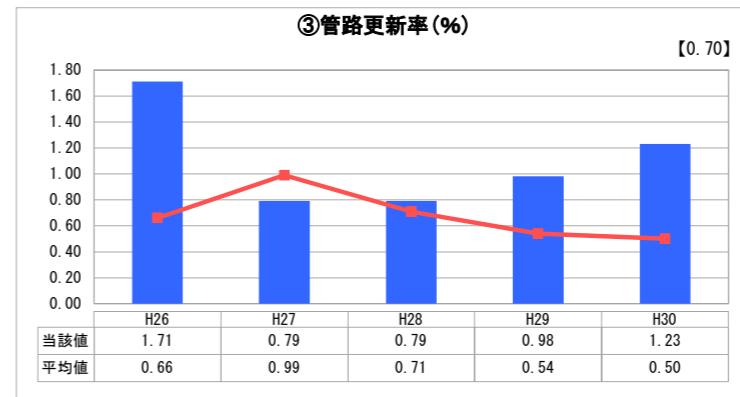
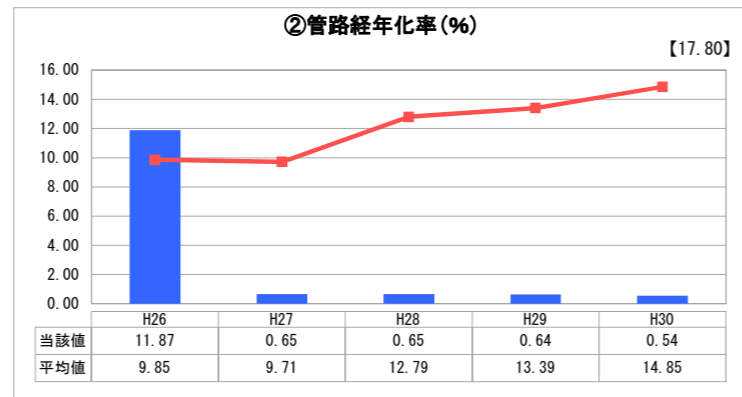
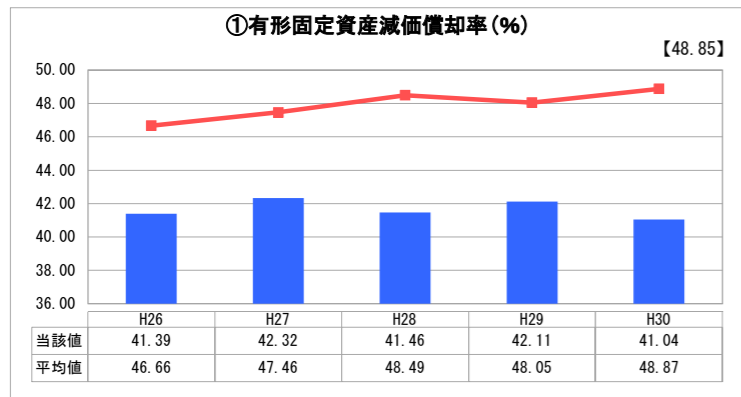
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 18,440 | 133.91 | 137.70 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 16,393 | 29.20 | 561.40 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該団体値(当該値) |
| — | 類似団体平均値(平均値) |
| 【 | 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

経常損益における収益面においては、給水人口減少等により給水収益が微減し、経常収益全体としてはほぼ横ばいになっている。一方で、アセットマネジメント及び経営戦略策定業務の委託業務等に伴い、経常費用が増加したため、経常収支比率は下降した。効率性については、漏水の多い箇所を優先的に修繕していることもあり、例年と有収率に大きな変動はみられない。引き続き漏水の多い箇所を優先的に管路更新していくことで、有収率の改善を図りたい。近年では料金回収率が100%を下回ることが多く、経営戦略に沿った持続可能な経営を目指すためにも、将来的な料金改定を含めた検討を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当水道事業は昭和49年に認可を受け、昭和54年から事業を開始している。平成26年度の管路経年率が高くなっているが、これは昭和54年事業開始時に取得した管路を、昭和49年事業認可以降事業開始までの間に布設したものとみなして計上したため、正しくは平成26年度 0.64となる。しかしながら、事業開始時に取得した管路が法定耐用年数に達する令和元年度には、40%を超える見込みである。管路更新率は報告数値に誤りがあり、平成28年度 2.03である。事業の繰越があった平成27年度を除いて類似団体平均を上回っているが、更新需要の高まりを見据えて、事業費を平準化しながら計画的に更新する必要がある。

全体総括

当町の人口は減少傾向であり、それに伴い給水人口も減少している。給水収益は事業系需要家の使用水量増加により一時的に増加しているが、今後減少が予想される。一方で、事業創設時に整備した管路や施設が次々と更新時期を迎え、事業費が増加することが見込まれる。将来にわたって安定的に事業を継続していくためにも、平成30年度に行ったアセットマネジメントの結果や経営戦略に基づき、今後の更新需要を踏まえた料金の適正化について検討し、合わせて費用の節減に取り組んでいく。